



2021年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年6月3日

上場会社名 ナトコ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4627 URL http://www.natoco.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 粕谷健次
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山本豊 TEL 0561-32-2285
 四半期報告書提出予定日 2021年6月14日 配当支払開始予定日 2021年7月6日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年10月期第2四半期の連結業績（2020年11月1日～2021年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年10月期第2四半期	8,957	10.7	1,027	66.7	1,145	86.3	844	107.6
2020年10月期第2四半期	8,091	△8.2	616	△17.6	614	△22.5	407	△19.0

(注) 包括利益 2021年10月期第2四半期 1,004百万円 (298.3%) 2020年10月期第2四半期 252百万円 (△54.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年10月期第2四半期	112.00	—
2020年10月期第2四半期	53.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年10月期第2四半期	25,746	19,885	77.2
2020年10月期	24,651	19,047	77.3

(参考) 自己資本 2021年10月期第2四半期 19,885百万円 2020年10月期 19,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年10月期	—	18.00	—	22.00	40.00
2021年10月期	—	29.00	—	—	—
2021年10月期（予想）	—	—	—	29.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2021年6月3日）公表いたしました「業績予想の修正、剰余金の配当（第2四半期末配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年10月期の連結業績予想（2020年11月1日～2021年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,300	12.6	1,940	34.6	2,080	38.6	1,450	41.1	192.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2021年6月3日）公表いたしました「業績予想の修正、剰余金の配当（第2四半期末配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年10月期 2 Q	8,144,400株	2020年10月期	8,144,400株
② 期末自己株式数	2021年10月期 2 Q	600,992株	2020年10月期	600,923株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年10月期 2 Q	7,543,428株	2020年10月期 2 Q	7,543,477株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年11月1日~2021年4月30日)における世界経済は、新型コロナウイルス感染症(以下「感染症」という。)の影響で引き続き不透明な状況であるものの、一部の国では景気回復傾向が見られるなど、各国ごとの回復ペースに濃淡が見られました。

わが国経済は、世界経済の緩やかな回復傾向を受けて輸出や生産に持ち直しの動きが見られましたが、感染症の再拡大により再び緊急事態宣言が発令されるなど、依然として厳しい状況でありました。

このような状況のもと、当社グループは絶えず独創的、革新的な研究と技術力の向上に努め、付加価値の高い製品の開発を行うとともに、お客様の満足度を第一とし、品質と機能において常に優れた製品、サービス、情報を提供することに努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,957百万円(前年同期比10.7%増)、営業利益1,027百万円(前年同期比66.7%増)、経常利益1,145百万円(前年同期比86.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益844百万円(前年同期比107.6%増)となりました。

セグメント業績は、次のとおりであります。

①塗料事業

金属用塗料分野では、日本国内向けはコロナ禍の生産調整の影響が見られたものの、中国での販売が堅調であったことで、売上高は前年同期に比べ増加いたしました。建材用塗料分野では、主力外装建材ユーザーの高耐久商材への採用が増えたことや内装建材向けにおいて抗ウイルス塗料が採用されたことにより、売上高は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。セグメント利益は、建材用塗料分野での売上高の増加に加え、製造原価低減によるコストダウンにより前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、塗料事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は5,469百万円(前年同期比10.8%増)、セグメント利益は724百万円(前年同期比32.8%増)となりました。

②ファインケミカル事業

物流関係や食品・医薬品用のラベル印字材料(情報記録材料)向けのコーティング剤が堅調に推移したことや、PC及びモバイル製品向けのコーティング剤の需要が旺盛であったことにより、売上高、セグメント利益は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。

その結果、ファインケミカル事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は1,528百万円(前年同期比29.9%増)、セグメント利益は447百万円(前年同期比85.8%増)となりました。

③シンナー事業

既存ユーザーのコロナ禍の生産調整から回復傾向で出荷量が戻りつつあるものの、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。セグメント利益は、売上構成の見直しや2019年台風19号の浸水被害により工場が1ヶ月半生産停止となった有限会社アイシー産業の回復により前年同期に比べ増加いたしました。

その結果、シンナー事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は1,958百万円(前年同期比1.0%減)、セグメント利益は171百万円(前年同期比26.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は18,190百万円となり、前連結会計年度末に比べ689百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が271百万円減少したものの、現金及び預金が459百万円、電子記録債権が112百万円、商品及び製品が63百万円、原材料及び貯蔵品が280百万円増加したことによるものであります。固定資産は7,556百万円となり、前連結会計年度末に比べ405百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が318百万円、無形固定資産が55百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は25,746百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,095百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は5,120百万円となり、前連結会計年度末に比べ241百万円増加いたしました。これは主にその他流動負債が348百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が471百万円、未払法人税等が90百万円増加したことによるものであります。固定負債は740百万円となり、前連結会計年度末に比べ15百万円増加いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が11百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は5,861百万円となり、前連結会計年度末に比べ257百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の合計は19,885百万円となり、前連結会計年度末に比べ838百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を844百万円計上した一方で、配当金の支払165百万円があったことと、為替換算調整勘定が139百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は77.2%(前連結会計年度末は77.3%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ520百万円増加し、7,678百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,386百万円(前年同期は880百万円の収入)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1,148百万円、減価償却費261百万円、仕入債務の増加529百万円による資金の増加とたな卸資産の増加295百万円、法人税等の支払210百万円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は737百万円(前年同期は217百万円の支出)となりました。これは主に資金運用における定期預金の払戻、有価証券の償還及び信託受益権の償還による収入4,952百万円による資金の増加と有形固定資産の取得による支出795百万円、定期預金の預入、有価証券の取得及び信託受益権の取得による支出4,883百万円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は165百万円(前年同期は169百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払165百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年10月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、通期業績予想及び期末配当予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2021年6月3日)公表いたしました「業績予想の修正、剰余金の配当(第2四半期末配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,633,092	8,093,029
受取手形及び売掛金	5,324,337	5,053,301
電子記録債権	421,745	533,984
有価証券	1,200,000	1,200,000
商品及び製品	1,033,147	1,096,704
仕掛品	28,195	13,899
原材料及び貯蔵品	518,973	799,454
前渡金	468,093	468,093
その他	878,052	936,813
貸倒引当金	△5,327	△5,198
流動資産合計	17,500,312	18,190,083
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,651,947	2,631,829
機械装置及び運搬具(純額)	1,034,141	1,250,122
土地	1,743,380	1,743,380
その他(純額)	917,984	1,040,793
有形固定資産合計	6,347,453	6,666,125
無形固定資産	167,066	222,567
投資その他の資産		
投資有価証券	412,037	439,169
繰延税金資産	77,819	69,536
その他	153,923	163,193
貸倒引当金	△7,368	△3,895
投資その他の資産合計	636,412	668,005
固定資産合計	7,150,932	7,556,698
資産合計	24,651,244	25,746,781
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,714,454	3,186,069
電子記録債務	28,273	88,527
未払法人税等	207,821	298,496
賞与引当金	256,501	237,999
役員賞与引当金	33,900	20,450
その他	1,637,664	1,288,905
流動負債合計	4,878,614	5,120,448
固定負債		
繰延税金負債	6,193	13,167
役員退職慰労引当金	343,824	355,235
退職給付に係る負債	153,738	148,960
その他	221,749	223,591
固定負債合計	725,505	740,955
負債合計	5,604,120	5,861,403

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (2020年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,626,340	1,626,340
資本剰余金	3,316,538	3,316,538
利益剰余金	14,094,722	14,773,597
自己株式	△516,255	△516,339
株主資本合計	18,521,344	19,200,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	148,549	166,590
為替換算調整勘定	397,539	536,867
退職給付に係る調整累計額	△20,309	△18,217
その他の包括利益累計額合計	525,780	685,241
非支配株主持分	—	—
純資産合計	19,047,124	19,885,377
負債純資産合計	24,651,244	25,746,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
売上高	8,091,351	8,957,226
売上原価	6,086,209	6,457,113
売上総利益	2,005,141	2,500,113
販売費及び一般管理費	1,388,663	1,472,730
営業利益	616,478	1,027,382
営業外収益		
受取利息	2,655	2,030
受取配当金	6,456	5,721
貸倒引当金戻入額	—	570
為替差益	—	94,805
物品売却益	7,000	14,068
その他	15,424	6,236
営業外収益合計	31,537	123,432
営業外費用		
支払利息	1	1
売上割引	5,518	5,218
為替差損	27,525	—
その他	68	123
営業外費用合計	33,113	5,344
経常利益	614,902	1,145,471
特別利益		
固定資産売却益	172	1,799
補助金収入	5,847	16,713
受取保険金	6,807	—
特別利益合計	12,827	18,513
特別損失		
固定資産処分損	5,222	6,374
固定資産圧縮損	10,008	9,333
災害による損失	10,890	—
特別損失合計	26,121	15,708
税金等調整前四半期純利益	601,608	1,148,275
法人税、住民税及び事業税	177,773	297,847
法人税等調整額	16,788	5,596
法人税等合計	194,561	303,443
四半期純利益	407,046	844,831
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	407,046	844,831

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益	407,046	844,831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△95,707	18,041
為替換算調整勘定	△60,331	139,328
退職給付に係る調整額	1,128	2,091
その他の包括利益合計	△154,910	159,461
四半期包括利益	252,136	1,004,292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	252,136	1,004,292
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年11月1日 至 2021年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	601,608	1,148,275
減価償却費	291,335	261,803
固定資産圧縮損	10,008	9,333
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	738	△3,602
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5,813	△1,796
受取利息及び受取配当金	△9,111	△7,751
支払利息	1	1
固定資産処分損益 (△は益)	5,222	6,374
固定資産売却損益 (△は益)	△172	△1,799
災害による損失	10,890	—
為替差損益 (△は益)	22,385	△66,756
売上債権の増減額 (△は増加)	780,880	189,256
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,684	△295,807
仕入債務の増減額 (△は減少)	△306,116	529,912
補助金収入	△5,847	△16,713
受取保険金	△6,807	—
災害による損失の支払額	△8,861	—
その他	△188,327	△173,246
小計	1,194,699	1,577,483
利息及び配当金の受取額	7,896	7,179
法人税等の還付額	23	12,490
法人税等の支払額	△322,538	△210,287
営業活動によるキャッシュ・フロー	880,080	1,386,865
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△134,800	△83,400
定期預金の払戻による収入	216,800	152,800
有価証券の取得による支出	△2,800,000	△2,800,000
有価証券の償還による収入	2,800,000	2,800,000
信託受益権の取得による支出	△2,000,000	△2,000,000
信託受益権の償還による収入	2,000,123	2,000,130
有形固定資産の取得による支出	△295,104	△795,037
有形固定資産の売却による収入	1,131	1,800
無形固定資産の取得による支出	△13,279	△30,969
投資有価証券の取得による支出	△1,087	△1,063
差入保証金の差入による支出	△842	△122
差入保証金の回収による収入	33	709
補助金の受取額	5,847	16,713
保険金の受取額	6,807	—
その他	△2,997	798
投資活動によるキャッシュ・フロー	△217,368	△737,642
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△169,617	△165,839
自己株式の取得による支出	—	△83
財務活動によるキャッシュ・フロー	△169,617	△165,922
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,693	36,936
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	475,401	520,237
現金及び現金同等物の期首残高	6,970,209	7,158,492
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,445,610	7,678,729

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却方法については、従来、主に定率法（ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備は除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法)を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更は、当社における群馬粉体塗料生産工場の増設等を契機に、有形固定資産の使用状況を検証した結果、生産高、稼働率等が今後も長期安定的に推移することが見込まれることから、定額法により耐用年数の期間にわたって均等に費用配分することが、有形固定資産の使用実態をより適切に反映するものと判断したことによるものであります。

この結果、従来の方法によった場合と比較し、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ37,139千円増加しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の決算短信の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年11月1日 至2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	4,935,568	1,176,672	1,979,110	8,091,351	—	8,091,351
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,197	—	130,418	136,615	△136,615	—
計	4,941,765	1,176,672	2,109,528	8,227,967	△136,615	8,091,351
セグメント利益	545,960	240,609	135,528	922,098	△305,620	616,478

(注) 1. セグメント利益の調整額△305,620千円は、セグメント間取引消去12,387千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△318,008千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年11月1日 至2021年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	塗料事業	ファインケ ミカル事業	シンナー事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	5,469,846	1,528,532	1,958,847	8,957,226	—	8,957,226
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,890	—	123,238	130,128	△130,128	—
計	5,476,736	1,528,532	2,082,086	9,087,355	△130,128	8,957,226
セグメント利益	724,982	447,046	171,123	1,343,151	△315,769	1,027,382

(注) 1. セグメント利益の調整額△315,769千円は、セグメント間取引消去12,119千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△327,889千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却方法を変更しております。この変更により、従来の方法によった場合と比較し、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、塗料事業で20,922千円、ファインケミカル事業で3,191千円、シンナー事業で10,614千円増加しております。また、各報告セグメントに配分していない全社費用が2,410千円減少しております。